

## 取扱説明書

ご使用前に必ず本書をお読みいただき、ご使用される方がいつでも見ることができる場所に必ず保管してください。  
本商品は、弊社の厳密なる品質および精度検査に合格した事を証明いたします。

### ご使用前に

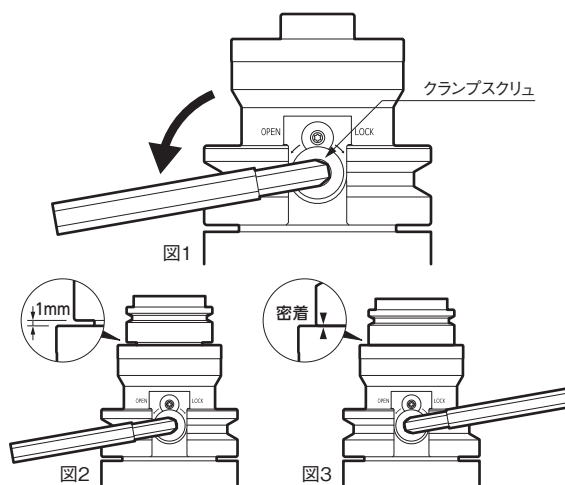
- ・プリセッタ本体のスピンドルおよびアダプタのテーパ部の油分・ほこり・汚れを取り除いてください。
- ・STPツツラ、STPマジス、STPエッセンティアをご使用の際はプリセッタ本体へのアダプタ登録が必要となります。
- ・ツールプリセッタ (STPツツラ、STPマジス、STPエッセンティア、TPS) の取扱説明書をご参照いただき、プリセッタ本体にアダプタを装着してください。
- ・アダプタ端面の基準エッジには、保護用の専用エッジカバーがあらかじめ取り付けられています。原点のプリセットを行う際には専用エッジカバーを取り外し、基準エッジ・基準寸法φDを基準にX軸・Z軸の原点のプリセットを行ってください。

### ホルダの脱着

基準エッジ保護のため、専用エッジカバーを取り付けた状態でご使用ください。

#### ●ホルダの取り付け

- ①付属のレンチをクランプスクリュの六角部に挿入し、クランプスクリュが止まる位置までOPENの方向 (反時計回り) に回すことでアダプタをアンクランプ状態にします。(図1)
- ②ホルダをアダプタに挿入してください。挿入する際にフランジ端面に指を挟まないように注意してください。(図2)
- ③アダプタ端面とホルダのフランジ端面が密着するまで、LOCKの方向 (時計回り) にレンチを締め付けてください。(図3)  
端面密着後もさらにホルダを引き込むことが可能です。市販のトルクレンチを使用し、推奨締め付けトルク (表1) での締め付けをお勧めします。



#### ⚠️ ご注意

ホルダとアダプタ、それぞれのフランジ端面とテーパ部に付着している油分、異物を除去してください。異物等が付着していると測定精度に影響を及ぼします。また、ホルダやアダプタを傷つける恐れがあります。

#### ●ホルダの取り外し

- ①レンチをクランプスクリュの六角部に図3の向きに挿入してください。
  - ②レンチをOPENの方向 (反時計回り) に回してください。テーパ部の食付きが解除され、アダプタ端面とホルダのフランジ端面が1mm程度離れます。(図2)
- ※テーパ部の食付きが解除されない場合、レンチをOPENの方向 (反時計回り) に軽く叩くと、ホルダの食付きが解除されます。

表1

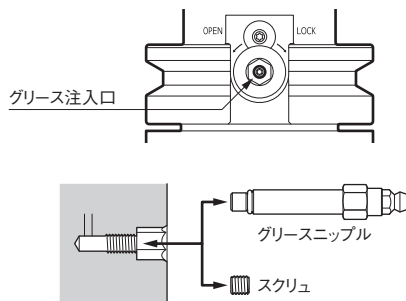
HSK	BIG CAPTO	推奨締め付けトルク (N・m)	HSK	BIG CAPTO	推奨締め付けトルク (N・m)
32	-	15	63	C6	20
40	C4	20	100	C8	25
50	C5				

### メンテナンス

アダプタ内部の摺動部には、グリースが注入されています。潤滑性が低下すると安定したクランプができなくなるため、6か月を目安にグリース【シェルスタミナグリースHDP2相当】を注入してください。

- ①クランプスクリュの六角穴の奥にあるグリース注入口のスクリュを取り外し、アダプタをクランプ状態にしてください。
- ②グリース注入口に付属のグリースニップル (GRN6) を取り付けます。
- ③グリースガンを使用し、クランプスクリュ周辺からグリースが溢れるまで注入します。
- ④グリースニップルを取り外し、スクリュを取り付けます。

※アダプタ内部に消耗品があります。クランプスクリュを締めた際に違和感を感じた場合は、販売元を通じて修理をご依頼ください。



### 使用上の注意

#### ⚠️ ご注意

- ・本アダプタは、ツールプリセットを目的とした製品です。ツールプリセット以外 (実加工など) には、絶対に使用しないでください。
- ・本アダプタにホルダを取り付けた状態で、ホルダのナット等の締め付けや緩め作業は絶対に行わないでください。